

令和5年3月30日

野々市市議会議長 中村 義彦 様

(報告者)

会派名 公明

代表者 大東和美



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和5年3月17日から19日まで
研修の場所	山口県萩市 第33回全国椿サミット萩大会
参加者氏名	大東 和美
目 的 (視 察 事 項)	<p>全国椿サミットは本市がその発起人的役割をされた経緯もあり、毎回、多くの椿愛好者が参加してきましたが、今回は、開催地の萩市からの案内もコロナ禍において、その開催時期の案内が遅かったことや、本市の椿まつりと日程が重なったことや、4年に1回の市議会議員の改選時でもあることから、参加者が少ないことが見込まれたことなど諸事情を考慮したうえで、参加の決意に至る。</p> <p>椿を市やまちの花木とする市町村が中心となり、椿の魅力に触れ、理解を深めるための全国椿サミットが4年ぶりに開催されます。</p> <p>今回は山口県萩市で開催され、萩の椿の紹介や椿にゆかりのある寺院、椿群生林の視察などを行います。</p> <p>野々市市でも全国椿サミットを開催した折、椿館等の施設や椿山整備して市全国から椿の愛好家をお迎えし、開催した経緯があります。</p> <p>椿は種類も多く世界中で品種改良に魅せられた花でもあり、その地での珍しい品種に出会えることや今後の野々市市の椿まつりをはじめ本市のこれからの魅力アップなど、今後の参考のため。</p>

<p>視察概要</p>	<p>第33回全国椿サミット萩大会（萩市民館）に参加が主たる目的</p> <p>会場の前には、椿に関連した作品や商品化されたもの、その場で作ったりと活気があふれる「お出迎え」が工夫されていました。</p> <p>生け花の作品も展示されていましたが、作者名が書かれており椿の品種名はありませんでした。</p> <p>オープニングの萩市無形民俗文化財「巫女の舞」の小学生3人のあでやかな舞で始まりました。</p> <p>映像紹介 コロナ禍で中止になった、長崎県五島市、岩手県大船渡市の映像紹介がされました。</p> <p>～歌でつなぐ椿の絆～ 『アカペラユニットしゅしゅ の3人』が10年間の各地の全国椿サミット開催地にちなんだ曲と映像が流れ、コロナ禍で開催されなかった時にその歌声には磨きかけられていました。</p> <p>開催セレモニー 主催者あいさつ 萩市椿協会会長、萩市長他 基調講演 草野 隆司 氏</p> <p>内容：次の日の現地視察（笠山椿群生林）の椿は、やぶツバキの自然群生林。渡辺 武 先生にその価値を教えられ、天然記念物 指月山人の手が入っていない原生林を、人の手を加えていかないと原生林になってしまう。人が手を加えたところは、永遠に人の手を加えなければならない。歴史的には、明治の頃には多くが切られた時代があった。落葉樹の山になっていた。</p> <p>さらに50年が経過しているため只今、実験中の試行錯誤をしているところ。（この時は意味が理解できていなかった）現地を実際に視察した時、その高さに驚かされました。</p> <p>閉会 次期開催地 島根県松江市の皆さんのあいさつ</p> <p>交流会（別の場所）では、この3年間中止になり、再開できたことを喜ぶ熱気、「椿」を通して交流する魅力であふれていました。</p> <p>翌日 現地視察 笠山群生林他</p> <p>感想：萩市が明治維新の志士を育てた気風は関ヶ原の合戦に敗れたのち、300年にも及ぶ徳川幕府に対する毛利の常に戦に備えたエピソードや、萩明倫学舎、松下村塾（吉田松陰は松陰先生と呼ばれ、徳川家康と同じように神になっていました）など、明治維新の発症の地は今も学問の大切さを伝えていました。困ったことは、女性のトイレ、和式が多かったこと。ウォシュレット・暖房便座が当たり前になってしまったせいか観光地として不思議な気がしました。もし今後本市が開催することがあるならば、広域開催が魅力増につなると確信を深めました。</p>
<p>備 考</p>	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。